

報道関係者各位

2010年1月14日

《第一報》  
ハイチ地震緊急支援活動

## セーブ・ザ・チルドレン ハイチ地震緊急支援を表明

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子ども支援の国際 NGO セーブ・ザ・チルドレン（以下 SC）は、1月12日午後5時前（日本時間13日午前7時前）に、カリブ海ハイチで発生したマグニチュード7.0の地震による被害を受けた子どもたちとその家族の緊急支援を行うことを発表しました。

ハイチ共和国の首都ポルトープランスにSCシニア緊急アドバイザー、イアン・ロジャーズからの速報によると、SCのハイチオフィスのある地域は、地震により建物が崩壊し、深刻な被害状況で、昨日より、SCでは緊急チームを配備して、支援活動を行うべく被害状況や、現地のニーズの調査を始めました。

首都ポルトープランスの道路は震災の影響で交通が遮断され、調査は徒歩やバイクを用いて実施しています。SCスタッフによると、道沿いにながれきりや倒壊した建物を目撃、震災により多くの場所で半数ほどの住宅が破壊されている模様です。「崩壊した建物や瓦礫で道路が塞がれ、緊急支援活動者が負傷者にとりつくことを困難にしている。数えきれないほどの子どもたちやその家族が安全な場所や基本的な生活用品を緊急で必要としている。今最も優先すべきは、子どもたちとその家族への食糧、清潔な水、避難場所、そして医療支援の提供である。長期にわたる支援が必要となる災害になるだろう。」

（在ハイチ SC イアン・ロジャーズ）

SCでは緊急支援物資を現地の世帯に迅速に届けるべく準備を進めています。衛生キット（歯ブラシ、タオル、石鹸）や、ファミリー・キット（毛布、蚊帳、水用の缶が含まれる）の配布を行い、シェルター設営後には、子どもたちが被災下でも遊ぶことができ、今回の震災経験による精神的回復を助けるチャイルド・フレンドリー・スペースを立ち上げる予定です。



©Kate Conradt Save the Children

SCは、1978年よりハイチにおいて、首都ポルトープランスや中央高原をはじめとした地域で活動しており、社会的に脆弱な子どもたちへの教育、保護、食糧の分野で支援を行っています。

\*現地スタッフ、イアン・ロジャーズへのご取材（英語）を承ります。

ご希望の方は、広報担当までご連絡ください。

### ■セーブ・ザ・チルドレン

1919年に設立した子ども支援 NGO。数少ない団体にだけ認められた、国連経済社会理事会（UN ECOSOC）の NGO 最高資格である総合諮問資格（General Consultative Status）を取得しています。年間予算は1,000億円を超え、現在、世界で29カ国のそれぞれ独立した組織が、パートナーを組み、世界最大のネットワークを活かして、120カ国以上で活動を展開しています。90年渡る活動は、世界の NGO の代表格として各国政府からもその重要性を認められています。